

REX-Dock
シリーズ
RATOC

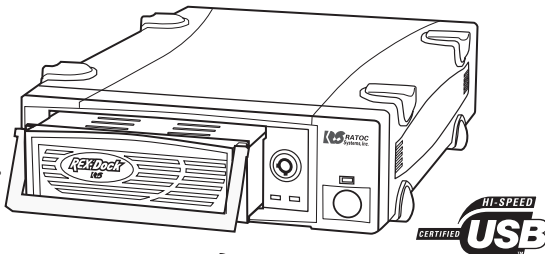
USB2.0 リムーバブルケース

U2-DK1/U2-MDK1(B)

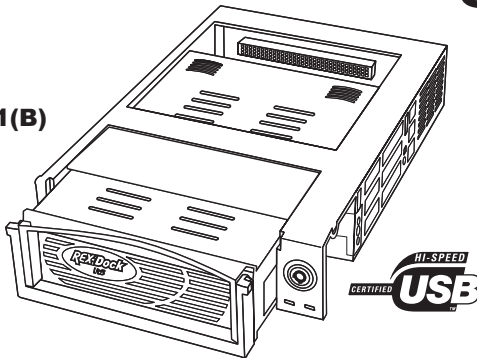
ユーザズマニュアル

2006年12月 第7.1版

● **U2-DK1**
外付けタイプ



● **U2-MDK1(B)**
内蔵タイプ



本製品を正しく安全にお使いいただくため
ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

ラトックシステム株式会社

RATOC Systems, Inc.

<ご注意>

1. 本書の著作権はラトックシステム株式会社にあります。
2. 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一不審な点や誤りなどお気づきになりましたらご連絡お願い申し上げます。
3. 本書の運用により生じた結果の影響については、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
4. 本書の一部または全部を無断で使用・複製することはできません。
5. 本書の内容は、将来予告なく変更する場合があります。

- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有しておりますが、弊社はその使用許諾契約により本商標の使用が認められています。
- Windowsは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple, eMac, iBook, iMac, Mac, MacOS, PowerBook, Power Macは、Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。MacBookは、Apple Computer, Inc.の商標です。
- その他本書に記載されている商品名/社名などは、各社の商標または登録商標です。なお本書では、TM、[®]マークは明記しておりません。

目次

●	安全にご使用いただくために	2
1	はじめに	3
	-1. 内容物の確認	3
	-2. 動作環境	4
	-3. 使用上の注意	4
	-4. 各部の名称	5
	-5. 本製品が使えるようになるまでの手順	6
2	ドライバ・ユーティリティのインストール	7
3	取り付け方法	8
	-1. ハードディスクをトレイに取り付け	8
	-2. パソコンへの接続	9
	-3. 動作の確認	12
4	使い方	13
	-1. トレイの交換	13
	-2. 製品の取り外し	14
	-3. ハードディスク温度の監視	15
5	ハードディスクのフォーマット	17
	-1. Windows Vista/XP/2000でのフォーマット	17
	-2. Windows Me/98SEでのフォーマット	18
	-3. MacOS Xでのフォーマット	19
	-4. MacOS 9.2.2でのフォーマット	20
6	ファームアップユーティリティによるモード切替 (パーティションを切ったハードディスクを使用可能にする)	21
7	アンインストール	25
8	困ったときは	26
9	お問い合わせ・ユーザ登録	29
	-1. 本製品に関するお問い合わせ	29
	-2. プロダクトキーについて	29
	-3. ユーザ登録	30
	-4. 修理について	30
10	オプション品のご案内	31
11	一般仕様	32
●	U2-DK1/U2-MDK1 質問用紙	

安全にご使用いただくために

本製品は安全に充分配慮して設計を行っていますが、誤った使い方をすると火災や感電などの事故につながり大変危険です。ご使用の際は、警告/注意事項を必ず守ってください。

表示について

この取扱説明書は、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、火災や感電などにより、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、感電やその他の事故により、人が負傷または物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。



警告

- 製品の分解や改造等は、絶対に行わないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重い物を載せることは行わないでください。
- 製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため、使用しないでください。



注意

- 本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近く、モーターなどのノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、スピーカー等の磁気を帯びた物の近くで保管しないでください。
- 煙が出たり異臭がする場合は、直ちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブルもコンセントから抜いてください。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故/火災事故/その他の障害が発生した場合、いかなる責任も負いかねます。
- 万一の事態に備えて、本製品をご使用になる前にパソコンのハードディスクや本製品に使用するハードディスク内に保存されているデータやプログラムのバックアップをおこなうことを推奨します。ハードディスクが破損したことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。
- 配線を誤ったことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。

1 はじめに

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

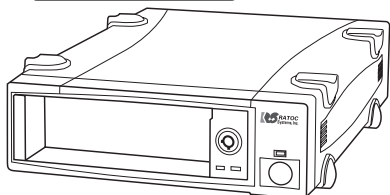
本書は本製品の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。また、お読みになった後も本書は大切に保管してください。

1-1. 内容物の確認

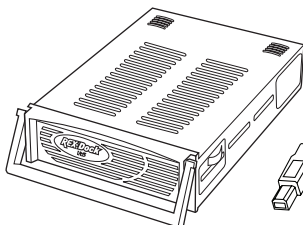
パッケージの中に下記の物がすべて揃っているかご確認ください。

万一不足がありましたら、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。

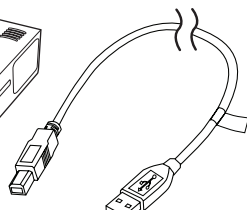
型番:U2-DK1



● リムーバブルケース本体

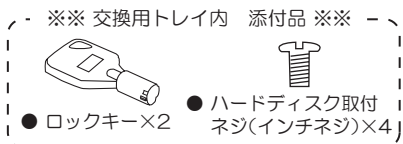


● IDEハードディスク用
交換用トレイ



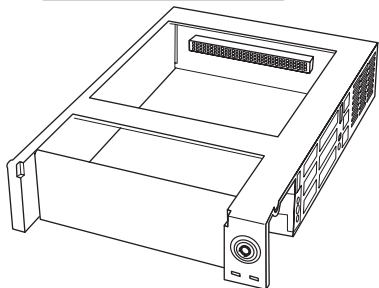
● USBケーブル
(100cm)

- ACケーブル
- ユーザーズマニュアル
(本書)
- ソフトウェア
CD-ROM
- 保証書

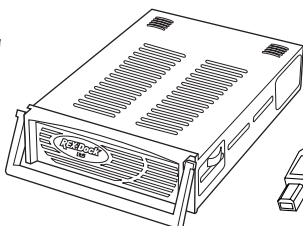


型番:U2-MDK1(B)

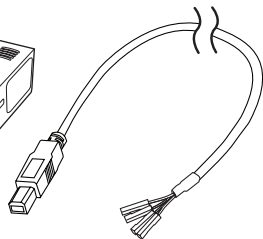
※カラー:アイボリー(U2-MDK1)、ブラック(U2-MDK1B)



● リムーバブルケース本体

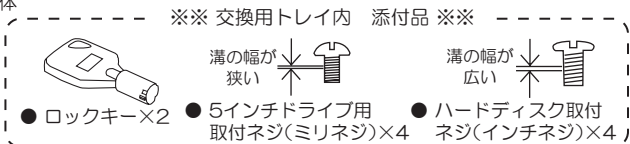


● IDEハードディスク用
交換用トレイ



● マザーボード用
USBケーブル(70cm)

- ソフトウェアCD-ROM
- ユーザーズマニュアル
(本書)
- 保証書



1 -2. 動作環境

型番:U2-DK1

- ◆ **対応OS:** 【Windows】 ・Windows Vista/XP x64/XP/Me/2000/98SE
※USB2.0機器として使用するためには、USB2.0対応ホストアダプタおよびUSB2.0EHCIドライバが必要です。
- 【Mac】 ・MacOS X 10.1.2以降、MacOS 9.2.1以降
※MacOS X 10.2.8以前のOSではUSB1.1での使用となります。
ただし、MacOS X 10.2.1以降10.2.8より前のOSでは、弊社製USB2.0インターフェイスカードとEHCIドライバを使用したとき、USB2.0で使用可能です。
- ◆ **対応機種:** USBポートを標準装備、もしくはUSBインターフェイスカードを搭載した以下の機種
【Windows】 ・Windows PC
【Mac】 ・Mac Pro, PowerMac G5/G4/G3
・Mac mini, iMac G4/iMac, iMac DV/DV+/SE, MacBook Pro, MacBook, iBook SE, eMac, iBook G4/G3, PowerBook G4/G3
- ◆ **対応ドライブ:** 3.5インチ ATA/IDE HD(ATA133/100/66/33)(7200rpm, BigDrive対応)
※PIO mode3以前のHD、ORBIは動作しません。

型番:U2-MDK1(B)

- ◆ **対応OS:** Windows Vista/XP x64/XP/Me/2000/98SE
※USB2.0機器として使用するためには、USB2.0対応ホストアダプタおよびUSB2.0EHCIドライバが必要です。
- ◆ **対応機種:** USBポートを標準装備、もしくはUSBインターフェイスカードを搭載した以下の機種
- ◆ **対応ドライブ:** ・Windows PC
3.5インチ ATA/IDE HD(ATA133/100/66/33)(7200rpm, BigDrive対応)
※PIO mode3以前のHD、ORBIは動作しません。

1 -3. 使用上の注意

- USB2.0機器として使用するためには、USB2.0対応ホストアダプタおよびUSB2.0EHCIドライバが必要です。
- 本製品に取り付けたハードディスクからOS起動(システム起動/ブート)はできません。
- 本製品の電源は、パソコンの電源と連動しません。
- 弊社製REX-SATAシリーズ用トレイは使用できません。
- 他社製のトレイは使用できません。
- 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 製品改良のため、将来予告なく外観または仕様の一部を変更する場合があります。
- 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守及びサポートは行っておりません。
- 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。
- 本製品の保証や修理に関しましては、添付の保証書に内容を明記しております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。

1-4. 各部の名称

型番:U2-DK1

●リムーバブルケース本体

前面

トップカバー

キースイッチ

添付のロックキーを使用して、トレイの取り外し/ロックを行います。トレイ電源のON/OFFの役目も果たします。

本体電源ランプ

リムーバブルケース通電時、緑色に点灯します。
※点滅するときは電源ユニットの故障です。

電源スイッチ

本体のON/OFFを行います。

●交換用トレイ

トレイ通電ランプ

トレイ通電時、緑色に点灯します。

アクセラランプ

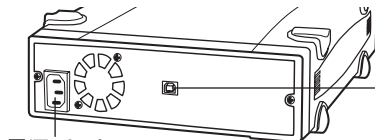
ハードディスクへアクセス時、赤色に点滅します。

トレイ取り外し用 ハンドル

リムーバブルケースから交換用トレイを取り外す際に使用します。

⚠ **注意** トレイ取り外し用ハンドルは、ハンドル部分のみを持って持ち運びをしないでください。ハードディスクが落下する恐れがあります。

背面



電源ソケット

USBコネクタ

型番:U2-MDK1(B)

前面

トップカバー

●リムーバブルケース本体

キースイッチ

添付のロックキーを使用して、トレイの取り外し/ロックを行います。トレイ電源のON/OFFの役目も果たします。

アクセラランプ

ハードディスクへアクセス時、赤色に点滅します。

●交換用トレイ

トレイ通電ランプ

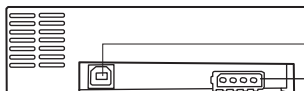
トレイ通電時、緑色に点灯します。

トレイ取り外し用 ハンドル

リムーバブルケースから交換用トレイを取り外す際に使用します。

⚠ **注意** トレイ取り外し用ハンドルは、ハンドル部分のみを持って持ち運びをしないでください。ハードディスクが落下する恐れがあります。

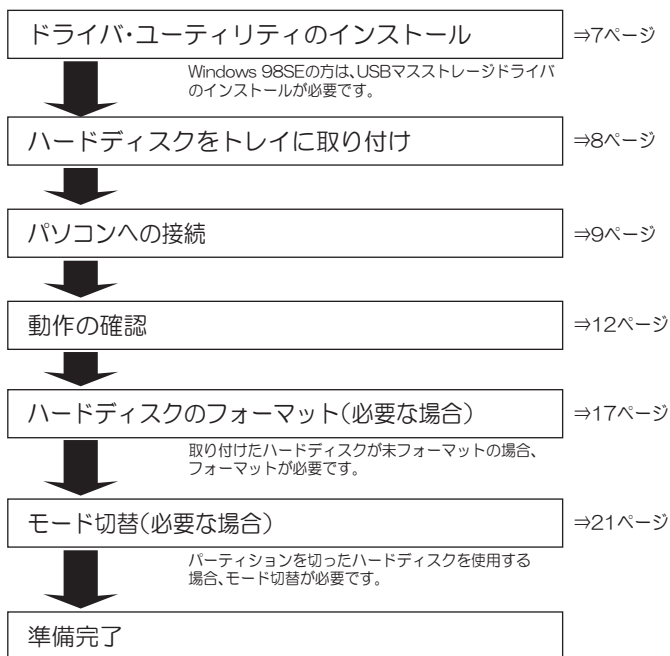
背面



USBコネクタ

電源コネクタ

1-5. 本製品が使えるようになるまでの手順



2

ドライバ・ユーティリティのインストール

OSがWindows 98SEの方は、本製品をパソコンに取り付ける前に、USBマストレージドライバをインストールしてください。

製品添付のCD-ROMには、弊社製USB2.0デバイス共通のインストーラが収録されています。インストーラでは、下記の内容をインストールすることができます。(Windowsのみ)

- Windows XP/2000用:フォーマットユーティリティ
ディスク管理でフォーマットできないハードディスクや、FAT32形式でフォーマットする場合に使用します。
- Windows Me/98用:フォーマットユーティリティ
GUIベースで初期化や区画作成ができるユーティリティです。
- Windows XP/2000用:温度監視ユーティリティ
ハードディスクの温度情報取得および、FANコントロール用ユーティリティです。
- Windows 98SE用:USBマストレージドライバ **Win98SEは必須**
Windows Vista/XP/2000/Me および Mac OSでは、OS標準ドライバを使用しますので、インストールする必要はありません。
- Vista対応ユーティリティは、ダウンロード提供
詳しくは、弊社ホームページ(<http://www.ratocsystems.com/>)にて。

1. 製品添付のCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入してください。

2. インストール画面が表示されます。

【次へ】をクリックしてください。

※ インストーラが自動的に起動しない場合、
マイコンピュータのCD-ROMドライブ
アイコンをダブルクリックしてください。



3. “USB2.0リムーバブルケースU2-DK1/DK1ALB”を選択し、【次へ】をクリックしてください。



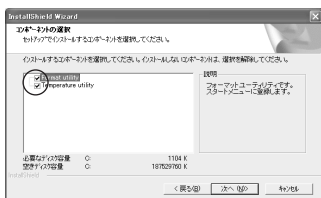
4. “U2DK1用のInstallShield Wizardへようこそ”画面が表示されます。

【次へ】をクリックしてください。

5. インストール場所を確認する画面が表示されます。【次へ】をクリックしてください。

6. インストールをおこなうユーティリティを選択し、【次へ】をクリックしてください。

※ Windows 98SEでは、USBマストレージドライバは自動的にインストールされます。
※ 温度監視ユーティリティ(Temperature Utility)は、未対応のWindows Me/98SEでもチェック項目として表示されますが、選択してもインストールはおこなわれません。



7. “再起動する”を選択し、【完了】をクリックしてください。インストール完了です。

3 取り付け方法

下記の手順で、本製品の取り付けをおこなってください。

- 1.【ハードディスクをトレイに取り付け】：
- 2.【パソコンへの接続】：
 - I.U2-DK1(外付けタイプ)の場合
 - II.U2-MDK1(B)(5インチベイ内蔵タイプ)の場合
- 3.【動作の確認】：

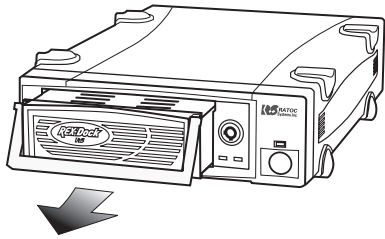
⚠ 注意

- 各ケーブルの接続は、コネクタの向きに注意して確実に接続してください。
- 取り付け手順は必ずお守りください。異なる手順で取り付けをおこなった場合、ハードディスクが破損する恐れがあります。
- ハードディスクが破損したことによる損失、逸失利益などの請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、ご注意ください。

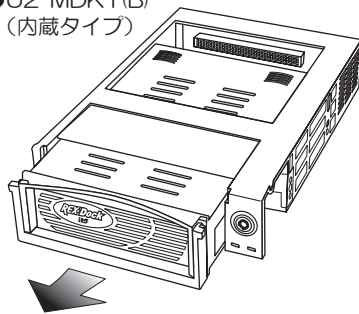
3-1. ハードディスクをトレイに取り付け

1. トレイ取り外し用ハンドルを持ち、“交換用トレイ”を矢印の方向へ引き出してください。

●U2-DK1
(外付けタイプ)

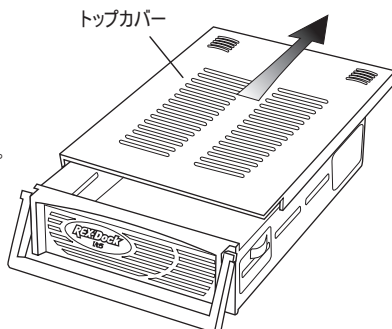


●U2-MDK1(B)
(内蔵タイプ)



2. トレイのトップカバーを取り外します。
矢印の方向にスライドさせてください。

※トレイ内の添付品はすべて取り出してください。



3. トレイにハードディスクを装着します。

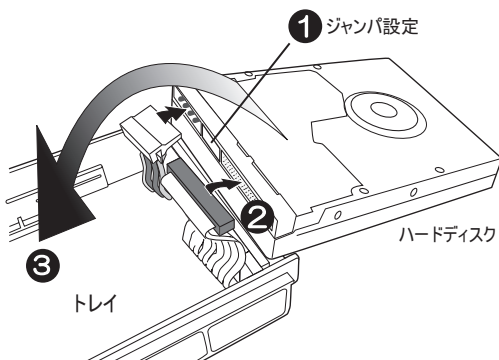
- ①ハードディスクのジャンパ設定を、MASTERに設定します。

※Western Digital製のハードディスクは、SINGLEに設定します。

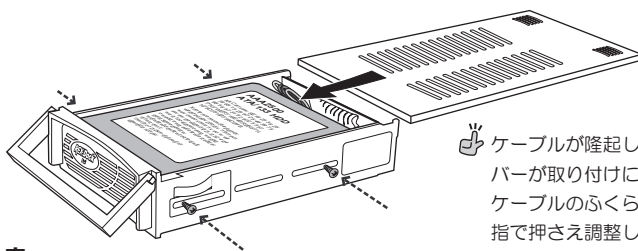
※ジャンパーピンの設定方法は、ハードディスクによって異なります。ハードディスクのマニュアルを参照してください。

- ②ハードディスクを裏返し、トレイ内のケーブルを接続します。

- ③ハードディスクを表返し、トレイに収納してください。



4. ハードディスクを同梱のネジでしっかりと止め、トップカバーを取り付けてください。



⚠ 注意

トップカバー等でケーブルを挟むと、断線する恐れがありますのでご注意ください。

3-2. パソコンへの接続

⚠ 注意

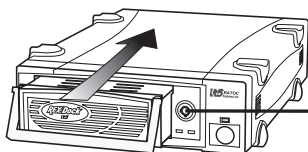
- 接続作業は、パソコンの電源を切り、電源プラグを抜いた状態でおこなってください。
- 静電気や衝撃による損傷を避けるため、必ずマザーボードのマニュアルにしたがって対策をし、慎重に接続作業をおこなってください。
- 各ケーブルの接続は、コネクタの向きに注意して確実に接続してください。
- 配線を誤ったことによるマザーボードの損傷およびその他の損傷については、いかなる責任も負いかねます。

I. U2-DK1の場合(Win/Mac)

1. トレイをリムーバブルケースに挿し込み、キースイッチをロックしてください。

⚠ 注意

トレイの取り付けは、ゆっくりと確実に奥まで挿し込んでください。コネクタが合っていない場合、無理に挿し込むとコネクタが破損します。

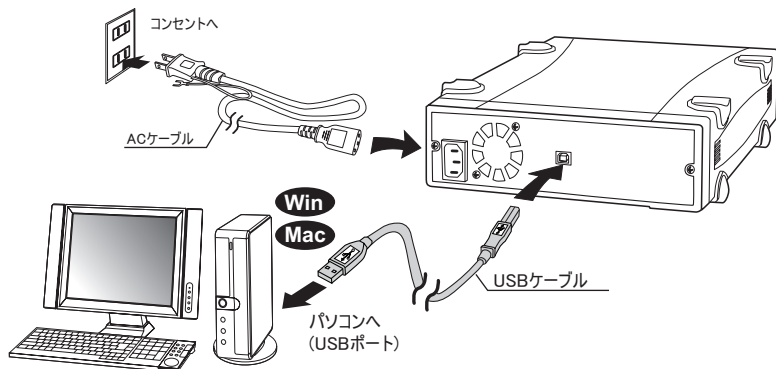


キースイッチ

ロック

解除

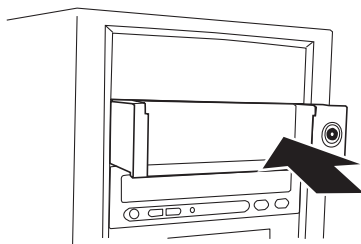
2. ケーブルを接続します。



以上で製品の取り付けは完了です。**3**-3.「動作の確認」へ進んでください。

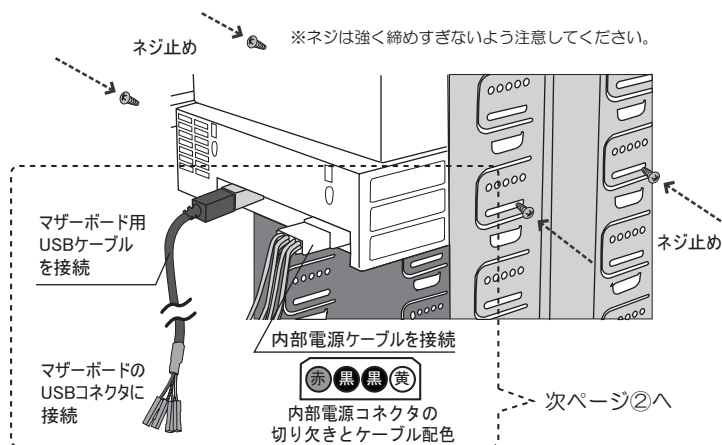
II. U2-MDK1(B)の場合(Winのみ)

1. 5インチベイのパネルをはずし、ケース本体を挿入します。



2. ケース本体をパソコンに固定し、ケーブルを接続します。

①5インチドライブ用取付ネジ(ミリネジ)で、ネジ止めします。(両側面とも)

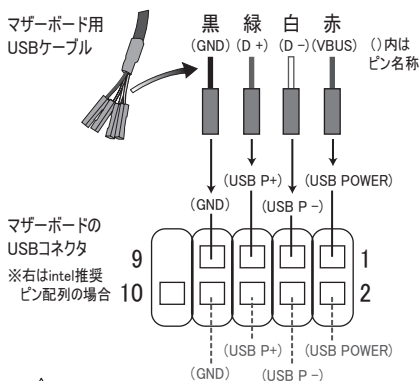


② マザーボード用USBケーブル、内部電源ケーブルを、下記例を参考に接続します。

※配線は逆挿ししないよう十分注意してください。

【マザーボード用USBケーブルの接続例】

各コネクタをマザーボードのUSBコネクタの、1から7番ピン(または2から8番ピンでも良い)に接続します。



注意

各マザーボードメーカーによってUSBコネクタの配列やピン名称が異なります。マザーボードのマニュアルを必ず参照してください。

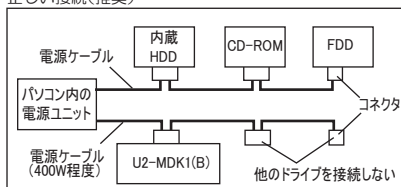
【マザーボードと各ピンの名称例とケーブルでの名称の対応表】

マザーボードの各ピン名称例	各ケーブルでの名称
VCC, USB POWER, (+)5V, POWERなど	VBUS(赤)
DATA-, USB-, USB D2-, USB D3-, Dmn(n=ポート番号)など	D-(白)
DATA+, USB+, USB D+, USB D3+, Dmn(n=ポート番号)など	D+(緑)
GND, Groundなど。	GND(黒)

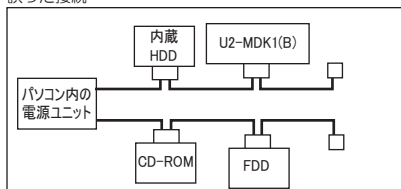
【内部電源ケーブルの接続例】

下図のように、パソコン本体の電源ケーブル1本を、U2-MDK1(B)専用)に確保して接続してください。確保せずに他のドライブを接続した場合は、動作保証致しませんのでご注意ください。

正しい接続(推奨)

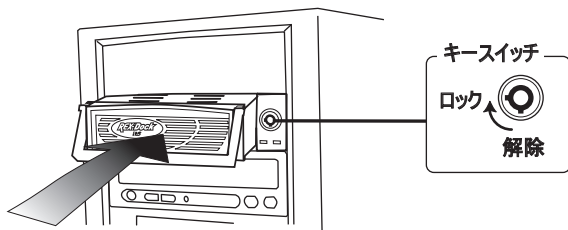


誤った接続



※U2-MDK1(B)と同じ電源ラインに内蔵HDDなどの他のドライブが接続されている場合、電源ユニットがU2-MDK1(B)に組み込まれたHDDスピンアップ時に必要な電源を供給できない場合があり、電源電圧が一瞬低下し同一の電源ラインに接続されたドライブの動作を停止することがあります。U2-MDK1(B)専用の電源ラインを確保してください。

3. トレイをリムーバブルケースに挿し込み、キースイッチをロックしてください。



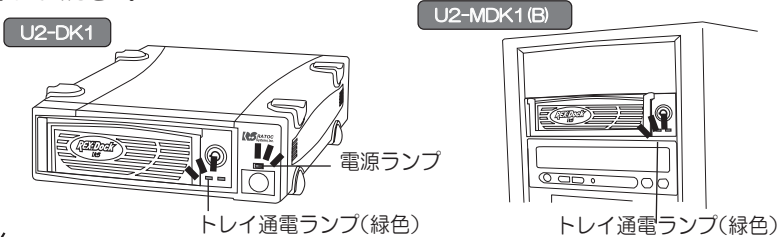
注意

トレイの取り付けは、ゆっくりと確実に奥まで挿し込んでください。コネクタが合っていない場合、無理に挿し込むとコネクタが破損します。

以上で製品の取り付けは完了です。3-3.「動作の確認」へ進んでください。

3-3. 動作の確認

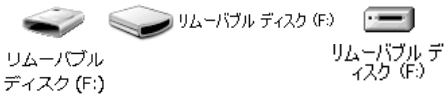
1. 本製品が正しく認識されるか確認します。パソコンの電源をONにしてください。U2-DK1は、電源スイッチもONにしてください。
2. リムーバブルケースの本体電源ランプ、およびトレイ通電ランプが点灯(緑色)しているか確認してください。



- 本体電源ランプが点灯しない場合、電源スイッチがONになっているか、ACケーブルが正しく接続されているかを、もう一度、確認してください。
- 電源ランプが点滅している場合は故障です。
- トレイのキースイッチがロックされていないと、トレイには通電(ハードディスクにアクセス)されません。

3. “マイコンピュータ”(MacOSは“デスクトップ”)に、新しいドライブのアイコンが表示されているか確認してください。

(Windows Vista/XP/2000/Me/98SEの場合)



- ボリューム名・ドライブ文字(D、E等)は、お客様のパソコン環境により異なります。
 - 未フォーマットのハードディスクを装着された場合は、上記のアイコンは表示されません。
 - ⑤ 「ハードディスクのフォーマット」を参照して、フォーマットをおこなってください。
 - 複数パーティションを切ったハードディスク(Winのみ)を装着された場合は、添付ユーティリティによるモード切替が必要です。
- 詳しくは、⑥ 「ファームアップユーティリティによるモード切替」を参照してください。

(MacOS X / 9.2.2 の場合)

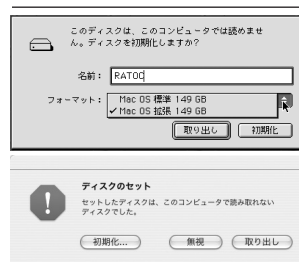


MacOSで「読み取れないディスク」「初期化しますか?」などのメッセージが表示された場合

ハードディスクがフォーマットされていないか、MacOSでは使用できない形式でフォーマットされています。

フォーマットする場合は「初期化」をクリックします。

- ① 初期化すると、MacOSで使用できるようになりますが、ディスク上のデータはすべて消去されます。



以上で動作確認は完了です。

次章 ④ 「使い方」をお読みになった上で、本製品をお使いください。

4 使い方

1. 【トレイの交換】：

パソコンの電源を入れたまま、トレイの交換をおこなう手順を説明します。

2. 【製品の取り外し】：

パソコンの電源を入れたまま、製品の取り外しをおこなう手順を説明します。

3. 【温度監視ユーティリティ】：

本製品に添付のユーティリティです。S.M.A.R.T.コマンド対応のハードディスクから内部温度情報を読み出し、監視ができます。(Windows XP/2000のみ)

※Windows Vista対応版は、弊社ホームページ(<http://www.ratocsystems.com/>)にてダウンロード提供。



警告

トレイの交換/取り外し作業を行う際は、必ず手順に従ってください。異なる手順で無理にトレイの交換/取り外しを行うと、ハードディスクの破損、または記録データが損失する場合があります。



パソコンの電源OFF時は、トレイの交換/本製品の取り外しを自由に行うことができます。

4-1. トレイの交換

下記の手順で、パソコンの電源を入れたまま、トレイの交換ができます。

【Windowsの場合】

1. [マイコンピュータ]を開き、リムーバブルディスクのアイコンを右クリックし、「取り出し」を選びます。

※リムーバブルディスクのアイコンは表示されたままとなります。



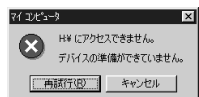
2. 下記の手順で、トレイの交換をおこないます。



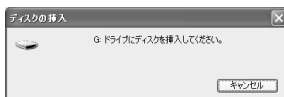
※イラストはU2-DK1ですが、U2-MDK1(B)でも同じ手順でトレイ交換が可能です。



リムーバブルディスクを開く際に、次のようなメッセージが表示される場合は、キースイッチがロックされているか確認してください。



(画面はWindows 98SEの場合)

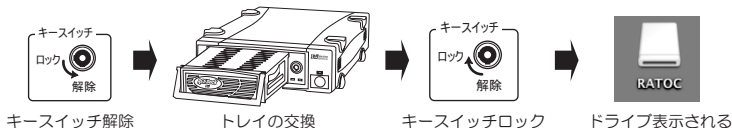


(画面はWindows XPの場合)

【Macの場合】

1. ハードディスクのアイコンをゴミ箱に捨てます。

2. 下記の手順で、トレイの交換をおこなってください。



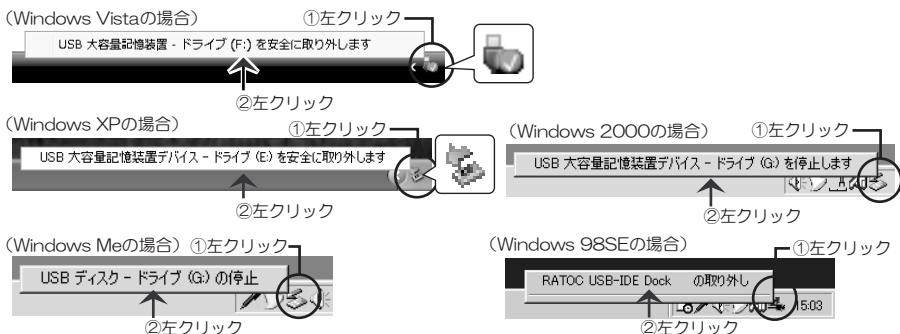
4-2. 製品の取り外し

下記の手順で、パソコンの電源を入れたまま、製品の取り外しができます。

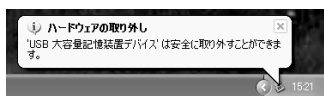
【Windowsの場合】

1. タスクバー通知領域の“ハードウェアの安全な取り外し”(①)アイコンをクリックし、続けて表示されたメッセージ(②)を選択します。

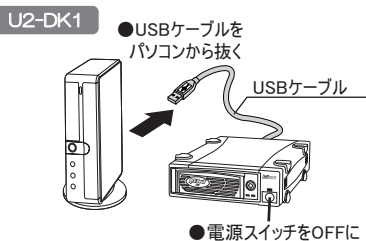
※表示されるドライブ名は、内蔵するハードディスクにより異なります。



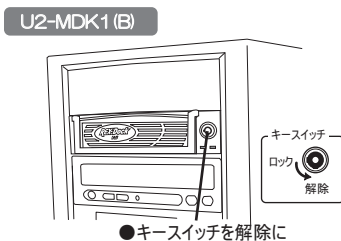
2. “安全に取り外すことができます”といった内容のメッセージを確認します。Windows Vista/2000/Me/98SEは【OK】をクリックします。



3. 製品の取り外しを行ってください。



※取り外し後、電源スイッチを入れ、USBケーブルを挿すと、再び製品は接続されます。



※取り外し後、キースイッチをロックにしても再び製品は接続されません。システムを再起動してください。

【Macの場合】

1. ハードディスクのアイコンをゴミ箱に捨てます。
2. 製品の取り外しをおこなってください。(上図「U2-DK1」参照)

4-3. 温度監視ユーティリティ

本製品に添付の「温度監視ユーティリティ」は、S.M.A.R.T.コマンド対応のハードディスクから内部の温度情報を読み出して、監視するユーティリティです。システムに常駐し、設定温度に応じて冷却FANの回転速度を制御したり、警告メッセージを表示することができます。

添付ユーティリティはWindows XP/2000対応です。(Windows XP×64/Me/98SEやMacOSでは使用できません) Windows Vista対応版は、弊社ホームページ(<http://www.ratocsystems.com/>)にてダウンロード提供。

- ※S.M.A.R.T.に対応していないハードディスクは未対応と表示され、温度測定はできません。
- ※本製品を固定ディスクモードで使用している場合、本ユーティリティは動作しません。
- ※ハードディスクを交換した場合、温度取得できないことがあります。
- ※Administrator権限以外のユーザモードでは使用できません。

■温度監視ユーティリティの主な機能

1. 接続しているSATA、又はIDE ハードディスクドライブの情報表示
2. S.M.A.R.T.機能を備えたハードディスクドライブの属性と値の一覧表示
3. S.M.A.R.T.機能によるハードディスクドライブの温度チェックと警告表示
4. ハードディスクドライブの状態ログレポート表示および保存
5. ハードディスクドライブの温度変化グラフ表示および保存

【ユーティリティ画面の表示】

1. 本製品が接続され、電源が入っているか確認します。
2. タスクトレイにある本製品のアイコンをダブルクリックします。

ダブルクリック



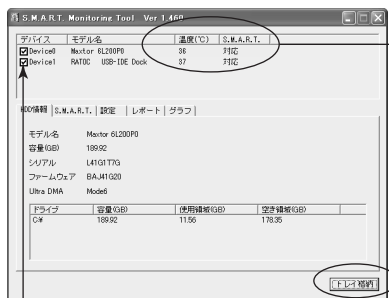
※本製品のアイコンがない場合は、[スタート]ボタンから[すべてのプログラム]-[スタートアップ]-[Temperature for Win2K]を選択してください。または、インストールをおこなってください。

2 「ドライバ・ユーティリティのインストール」参照

3. ユーティリティのウィンドウが表示されます。

【ユーティリティ機能説明】

■ [HDD情報] 画面(接続ハードディスクの情報表示)



デバイスの温度とS.M.A.R.T.の対応状況を表示。S.M.A.R.T.機能をもったハードディスクは温度が表示されます。

※S.M.A.R.T.機能をもたないハードディスクは、「未対応」となり、温度は表示されません

「トレイ格納」ボタンをクリックすると、ウィンドウを閉じてタスクトレイに常駐し、ハードディスクの状態を監視します。

チェックボックスのチェックで、タスクトレイにHDを表示します。



右クリックでメニュー表示

■ [S.M.A.R.T.]画面(ハードディスクの属性と値の一覧表示)

①ハードディスクを選択

②[S.M.A.R.T.]タブを選択

選択したハードディスクの内部情報が表示されます。

ID	Attribute	Value	Worst	Threshold	Raw Value	F	△
03	Spin Up Time	208	207	63	00 00 00 30 60	0	
04	Start/Stop Count	253	253	0	00 00 00 00 00	0	
05	Reallocated Sector Count	253	253	63	00 00 00 00 00	0	
06	Read Channel Margin	253	253	100	00 00 00 00 00	0	
07	Seek Error Rate	253	252	0	00 00 00 00 00	0	
08	Seek Time Performance	246	238	167	00 00 00 00 00	0	
09	Power On Hours Count	252	252	0	00 00 00 75 2A	0	
0A	Spin Retry Count	253	252	167	00 00 00 00 00	0	
0B	Recalibration Retries	253	252	223	00 00 00 00 00	0	

■ [設定]画面(ハードディスク温度チェックと警告表示、温度に応じたFANコントロール)

①ハードディスクを選択

②[設定]タブを選択

ハードディスクの温度変化を表示します
※設定した「温度チェック間隔」ごとに取得した温度をもとに、グラフを生成します。
※新しいドライブを検出すると、リセットされます(それまでの測定値はクリアされます)。
※[ファイル保存]をクリックすると、CSV形式で保存できます。

■ [レポート]画面(ハードディスクの状態ログレポート表示および保存)

①ハードディスクを選択

②[レポート]タブを選択

ハードディスクの記録を表示します
※記録は、デバイスの温度が警告設定温度を超えた場合や、S.M.A.R.T.の値が変化した場合におこなわれます。
※[ファイル保存]をクリックすると、CSV形式で保存できます。

時刻	メッセージ	備考
2006/09/21 15:43	Device Spin Up Time値が出力し	0 → 226
2006/09/21 15:43	Device Unknown値が変化しました	226 → 0
2006/09/21 15:42	Device Spin Up Time値が出力し	0 → 226
2006/09/21 15:42	Device Unknown値が変化しました	226 → 0

■ [グラフ]画面(ハードディスクの温度変化グラフ表示および保存)

①ハードディスクを選択

②[グラフ]タブを選択

ハードディスクの温度変化を表示します
※設定した「温度チェック間隔」ごとに取得した温度をもとに、グラフを生成します。
※新しいドライブを検出すると、リセットされます(それまでの測定値はクリアされます)。
※[ファイル保存]をクリックすると、CSV形式で保存できます

5

ハードディスクのフォーマット

ハードディスクをフォーマット(初期化)する方法は、OSによって異なります。

1. [Windows Vista/XP/2000でのフォーマット]:

Windows標準のディスクユーティリティ(ディスクの管理)を使用します。

※本製品に添付のフォーマットユーティリティ(XP/2000用)は、ディスクの管理に表示されない形式でフォーマットされている場合、およびFAT32フォーマットをおこなう場合のみに使用します。

2. [Windows Me/98SEでのフォーマット]:

本製品に添付のフォーマットユーティリティを使用します。

※本製品に添付のフォーマットユーティリティでは、フォーマット、パーティション作成、ファイルシステムの変更をおこなうことが可能です。

3. [MacOS Xでのフォーマット]:

MacOS標準のフォーマットユーティリティを使用します。

4. [MacOS 9.2.2でのフォーマット]:

MacOS標準のフォーマットユーティリティを使用します。

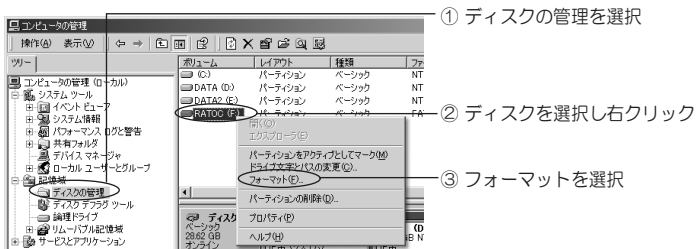
警告

フォーマットを行うと、すべてのデータは消去されます。フォーマットを実行する際、選択ドライブに間違いがないかよくご確認ください。

5-1. Windows Vista/XP/2000でのフォーマット

1. [スタート]→[マイ コンピュータ] (Vistaはコンピュータ) を右クリックし、[管理]を選択します。※Vistaでユーザーアカウント制御のメッセージが表示された場合、[続行]をクリックしてください。

2. 「ディスクの管理」からフォーマットします。



ハードディスクが表示されていない場合、**8**「困ったときは」を参照してください。

3. ボリュームラベル(ドライブ名)を入力し、[OK]をクリックします。



5 -2. Windows Me/98SEでのフォーマット

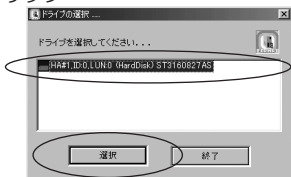
本製品に未フォーマットのハードディスクを取り付けた場合、「マイコンピュータ」に、新しいハードディスクのアイコンは表示されません。このため、Windows標準のフォーマットを使用することができません。本製品に添付の「フォーマットユーティリティ」を使用してください。

【フォーマットユーティリティの使い方】

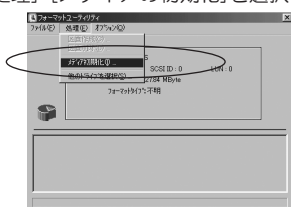
1. インストールしたフォルダの中からFRFMTW9X.EXEを実行します。

2. フォーマットを指定します。

① ハードディスクを選択し、[選択]をクリック

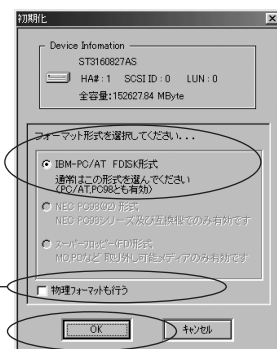


② [処理]-[メディアの初期化]を選択



【③につづく】

③ 「IBM PC/AT FDISK形式」を選択し、[OK]をクリック



本製品では物理フォーマットを行うことはできませんので、チェックを入れなくてください。
(物理フォーマットは、SCSI HDD用の設定です)

3. 「区画を確保してください」メッセージで[OK]をクリックします。

4. 区画作成(パーティション)を指定します。

① [処理]-[区画作成]を選択



② 区画サイズを指定

③ ボリュームラベル(ドライブ名)を入力

④ [OK]をクリック



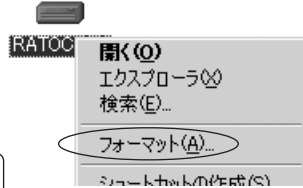
【Windows標準のフォーマット方法】

“マイコンピュータ”に、ハードディスクのアイコン表示がある場合は、OS標準のフォーマットを使用できます。

1. [マイ コンピュータ]をクリックします。
2. ハードディスクのアイコンを右クリックして、[フォーマット]を選択します。



[マイ コンピュータ]にハードディスクが表示されていない場合は、フォーマットユーティリティにてフォーマットを行ってください。



5 -3. MacOS Xでのフォーマット

MacOS標準のフォーマットユーティリティを使用します。

1. [Macintosh HD]- [アプリケーション]- [ユーティリティ]を開き、ディスクユーティリティをダブルクリックします。



ディスクユーティリティ

2. パーティション作成を実行します。(フォーマットも同時に実行されます)

- ①フォーマットするハードディスクを選択

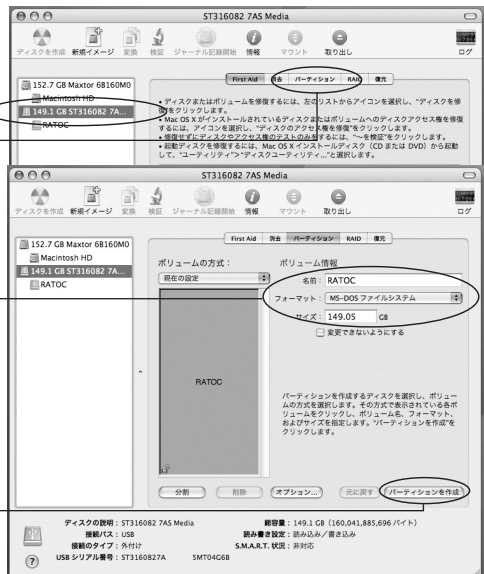
- ②[パーティション]タブをクリック

- ③ボリューム情報を設定



Windows PC でもハードディスクを使用する場合は、[フォーマット:]でMS-DOS ファイルシステムを選択します。

- ④[パーティションを作成]をクリック



3. デスクトップにハードディスクアイコンが表示されます。



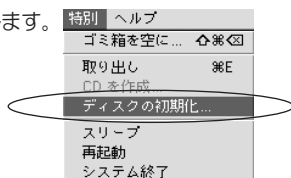
5-4. macOS 9.2.2でのフォーマット

MacOS標準のフォーマットユーティリティを使用します。

1. デスクトップにあるハードディスクアイコンを選択します。



2. メニューバーから[特別] - [ディスクの初期化]を選択します。

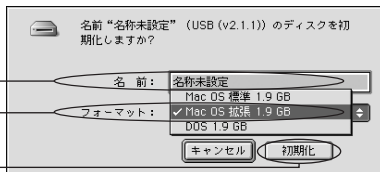


3. ディスクを初期化します。

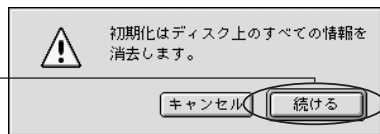
①名前(ボリューム名)を入力

②フォーマットを選択

③[初期化]をクリック



④[続ける]をクリック



OSが認識できないディスクを接続した場合は、画面の指示に従って初期化をおこないます。

※本書 12ページ「MacOS でハードディスクを認識時、「読み取れないディスク」「初期化しますか?」などのメッセージが表示された場合」を参照ください。

6

ファームアップユーティリティによるモード切替

(パーティションを切ったハードディスクを使用可能にする)

製品出荷時のモードは、【リムーバブルディスクモード】に設定されています。
下記の状況で使用する場合、【固定ディスクモード】へのモード切替が必要です。

- パーティションを切ったハードディスク(Windows)
- リムーバブルディスクモードでは使用できないソフトウェアで使用する場合など (Windows/Mac)



Macではモードに関係なくパーティションを切ったハードディスクが使用できます。
Windowsの【リムーバブルモード】では最初のパーティションだけが使用できます。

モード切替は、添付のファームアップユーティリティを使用してください。
OS別に、手順を説明します。

1. 【Windows Vistaでのモード切替】: ⇒21ページへ
2. 【Windows XP/2000/Me/98SEでのモード切替】: ⇒21ページへ
3. 【MacOS Xでのモード切替】: ⇒22ページへ
4. 【MacOS 9.2.2でのモード切替】: ⇒23ページへ

⚠ 注意

【固定ディスクモード】で使用する場合は、パソコン電源が入ったままでの”トレイ交換”はできません。パソコン電源を切ってから交換してください。

6-1. Windows Vistaでのモード切替

弊社ホームページ(<http://www.ratocsystems.com/>)よりVista対応ファームアップユーティリティをダウンロードしてください。操作手順はダウンロードしたReadmeを参照ください。

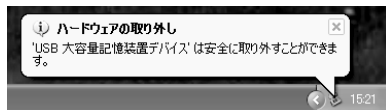
6-2. Windows XP/2000/Me/98SEでのモード切替

【固定ディスクモード】への切替

1. 本製品と本製品以外のUSB機器をすべて取り外してください。

4-2. 「製品の取り外し」参照

2. 製品添付のCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入してください。
3. 【マイ コンピュータ】→【CDドライブ】をダブルクリックし、【U2DK1】フォルダを開き、【U2SKFUP.exe】をダブルクリックしてください。



※拡張子(.exe)は、環境により表示されない場合があります。

4. U2-DK1(外付けタイプ)の場合、【Update New Firmware】ボタンが無効になっています。U2-DK1を接続(電源スイッチを押し、USBケーブルを挿す)すると、ボタンが有効になります。



再度、接続すると、ボタンが有効になる

※U2-MDK1(B)(内蔵タイプ)は、再度の接続は不要です。

5. 【固定ディスクモード】に設定します。

- ① 【固定ディスクモード】にチェック
- ② 【Update New Firmware】ボタンをクリック
- ③ 書き込みが完了するとメッセージが表示されます。
【OK】をクリックします。



- ④ 【EXIT】をクリックし、ユーティリティを終了します。
メッセージが表示されます。【OK】をクリックします。



6. パソコンの電源を切ってください。U2-DK1(外付けタイプ)は、電源スイッチも切ります。

7. パソコンを起動してください。U2-DK1(外付けタイプ)は、電源スイッチを押します。



ドライブのアイコン表示は、モード切替により変更されます。

● 固定ディスクモード時



ローカル ディスク (F)

ローカル ディスク (F)

● リムーバブルディスクモード時



リムーバブル ディスク (F)

リムーバブル ディスク (F)

以上で、モード切替完了です。本製品を【固定ディスクモード】として使用できます。
元に戻す場合は、手順 5.で【リムーバブルディスクモード】にチェックを入れてください。

6-3. MacOS Xでのモード切替

【固定ディスクモード】への切替

1. 本製品をパソコンに接続してください。
2. 製品添付のCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入してください。
3. CD-ROMアイコンをダブルクリックし、【U2DK1】フォルダの【U2DK1_OSX】フォルダを開き、【U2MDK1 Utility】をダブルクリックしてください。



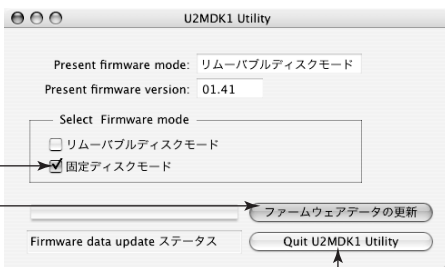
U2MDK1 Utility

4. 「アンマウントして下さい。」のメッセージが表示されます。
本製品のアイコンをゴミ箱に捨てた後、【OK】をクリックしてください。



5. 【固定ディスクモード】に設定します。

- ① 【固定ディスクモード】にチェック
- ② 【ファームウェアデータの更新】をクリック
- ③ 書き込みが完了するとメッセージが表示されます。
【OK】をクリックしてください。



- ④ 【Quit U2MDK1 Utility】をクリックし、ユーティリティを終了してください。
- ⑤ 「プログラムを終了する前に～電源をオフして下さい。」メッセージが表示されます。
本製品のUSBケーブルを抜き電源スイッチを切ってから【OK】をクリックしてください。



6. 電源スイッチを押し、USBケーブルを挿してください。



ドライブのアイコン表示は、モード切替により変更されます。

● 固定ディスクモード



● リムーバブルディスクモード



以上で、モード切替完了です。本製品を【固定ディスクモード】として使用できます。
元に戻す場合は、手順 5. で【リムーバブルディスクモード】にチェックを入れてください。

6-4. MacOS 9.2.2でのモード切替

【ユーティリティのインストール】

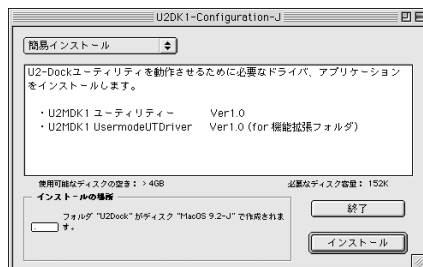
1. 製品添付のCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入してください。
2. CD-ROMアイコンをダブルクリックし、【U2DK1】フォルダの【U2DK1-Configuration-J】をダブルクリックしてください。
3. ライセンス画面が表示されます。【同意】をクリックしてください。
4. インストール先を確認し、【インストール】をクリックしてください。



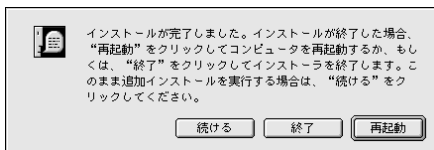
U2DK1-Configuration-J



プルダウンメニューを“アンインストール”にすると、ユーティリティを削除できます。



5. インストール完了です。
【再起動】をクリックしてください。



【固定ディスクモード】への切替

1. 本製品を取り外してください。

4-2. 「製品の取り外し」参照

2. インストール先の【U2Dock】フォルダを開き、【U2MDK1ユーティリティ】をダブルクリックしてください。



U2MDK1 ユーティリティ

3. 次のメッセージが表示されます。本製品を接続し、【OK】をクリックしてください。

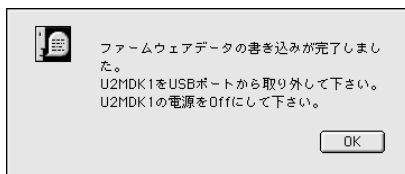
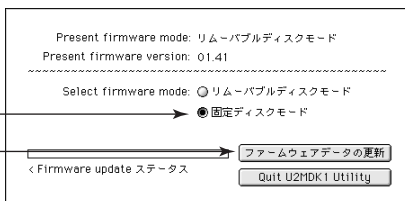


4. 【固定ディスクモード】に設定します。

① 【固定ディスクモード】にチェック

② 【ファームウェアデータの更新】をクリック

③ 書き込みが完了すると、メッセージが表示されます。本製品のUSBケーブルを抜き、電源スイッチを切ってから【OK】をクリックしてください。



5. 電源スイッチを押し、USBケーブルを挿してください。



ドライブのアイコンは、モード切替により表示が異なります。

●固定ディスクモード



●リムーバブルディスクモード



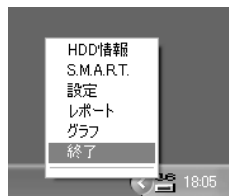
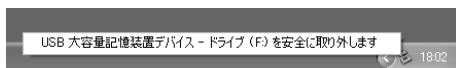
以上で、モード切替完了です。本製品を【固定ディスクモード】として使用できます。元に戻す場合は、手順 4. で【リムーバブルディスクモード】にチェックを入れてください。

7

アンインストール

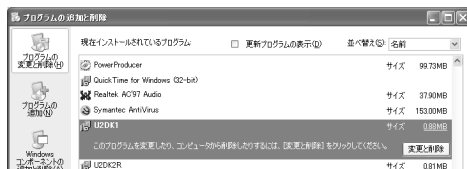
※例はWindows XPの画面です。その他OSでは画面・操作が若干異なります。

1. 本製品を接続している場合は、取り外しをおこなってください。
2. 温度監視ユーティリティがタスクトレイに常駐している場合は、アイコンを右クリックし【終了】を選びます。

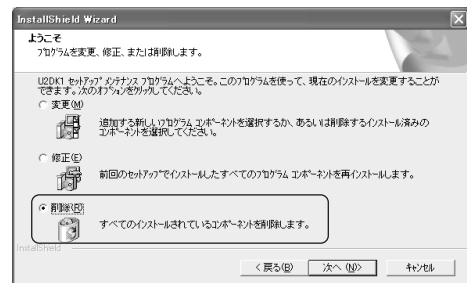


3. 【スタート】→【コントロールパネル】→【プログラムの追加と削除】(Windows 2000/Me/98は【アプリケーションの追加と削除】)を開いてください。

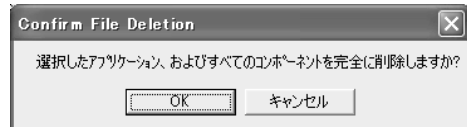
4. 【U2DK1】を選択し、【変更と削除】をクリックしてください。(Windows 2000/Me/98は、【追加と削除】をクリック)



5. ようこそ画面が表示されますので「削除」を選択し、【次へ】をクリックしてください。



6. 確認画面が表示されます。【OK】をクリックしてください。



7. U2DK1の削除は完了です。【完了】をクリックしてください。



8 困ったときは

Q. マイコンピュータにハードディスクが表示されない。(Windows)

Q. デスクトップにハードディスクが表示されない。(MacOS)

A. 【その1】 ハードディスクがフォーマットされていない。

警告

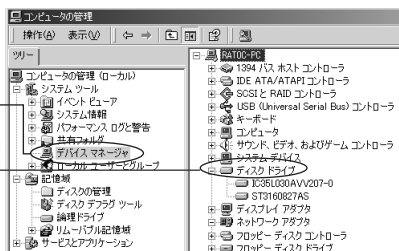
フォーマット実行後は、すべてのデータは消去されます。フォーマットを実行する際、選択ドライブに間違いがないかよくご確認ください。

◆ Windows Vista/XP/2000

1. [スタート]→[マイ コンピュータ] (Vistaはコンピュータ) を右クリックし、[管理]を選択します。 ※Vistaでユーザーアカウント制御のメッセージが表示された場合、[続行]をクリックしてください。

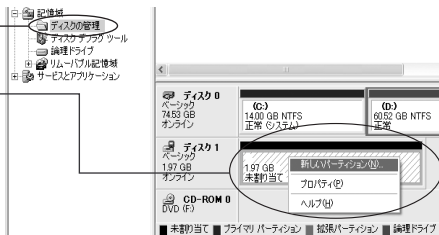
2. 「デバイスマネージャ」でドライブが認識されているか確認します。

- ① デバイスマネージャを選択
- ② 「ディスクドライブ」をダブルクリックして開く
接続しているハードディスクが表示されている場合、接続機器は正しく認識されています。



3. 「ディスクの管理」でドライブをフォーマットします。

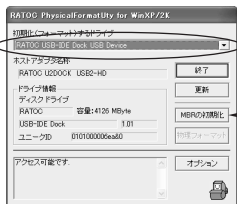
- ① ディスク管理を選択
- ② 「未割り当て」のドライブをフォーマット
未割り当てのドライブを右クリックし、「新しいパーティション」(Vistaは「新しいシンプルボリューム」)を選択してフォーマットをおこないます。



ドライブがディスクの管理に表示されない場合

LinuxなどWindows以外でフォーマットしたハードディスクは、「ディスクの管理」に表示されない場合があります。製品に添付しているWindows XP/2000用フォーマットユーティリティで、ディスク上のMBR(マスターブートレコード)を初期化して「ディスクの管理」に表示されるか、ご確認ください。

① [スタート]—[プログラム]—[SAIFKU2]—[Format utility for Win2K]を選択



② 接続されたドライブを選択

③ [MBRの初期化]をクリック

④ パソコンを再起動

※Vista用フォーマットユーティリティは弊社ホームページよりダウンロードしてください。

◆ Windows Me/98SE

「マイコンピュータ」にハードディスクが表示されていない場合、弊社提供のユーティリティを使用してフォーマットします。(P.20「Windows Me/98SEでのフォーマット」を参照)

◆ MacOS

通常フォーマットしていないハードディスクを接続すると、画面上に初期化(フォーマット)を促すメッセージ(P.14を参照ください)が表示されます。キャンセルしてしまった場合は、Macを再起動すると再度メッセージを表示することができます。

A. 【その2】 ケーブルが正しく接続されていない。

「デバイスマネージャ」に接続しているハードディスクが表示されていない場合、正常に認識されていません。いったんパソコンの電源を切ってから、ケース内部のケーブルやUSBケーブルなどがしっかりと装着されているか、ご確認ください。

A. 【その3】 フォーマットの種類が「ベーシック」になっていない。

フォーマットの種類が「ダイナミック」の場合、接続されていてもハードディスクは表示されません。「ベーシック」で再フォーマットをおこなってください。

Q. デスクトップにハードディスクが表示されない。(MacOS)

- A. WindowsとMacOSでハードディスクを使用するためには、ファイルシステムをFAT32に設定してフォーマットする必要があります。しかしながら、Windows XP/2000標準のフォーマット機能で容量32GB以上のハードディスクをフォーマットする場合NTFSのみとなり、FAT32フォーマットはできません。

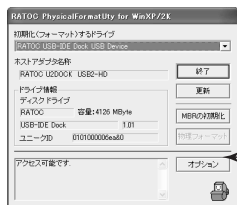
Windows XP/2000用フォーマットユーティリティのオプション機能を使用すれば、32GB以上のハードディスクのFAT32フォーマットをおこなうことが可能です。

⚠ 警告

フォーマット実行後は、すべてのデータは消去されます。フォーマットを実行する際、選択ドライブに間違いがないかご確認ください。

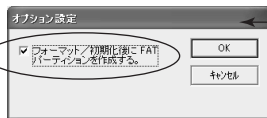
1. [スタート]-[プログラム]-[SAIFKU2]-[Format utility for Win2K]を選択します。

2.



① [オプション]をクリック

② 「FATパーティションを作成する」にチェックを入れる



③ [OK]をクリック

※Windows Me/98SEでは、32GB以上でもFAT32フォーマットとなります。

Q. 「ハードウェアの安全な取り外し」をおこなったが、エラーが表示されて取り外しできない。(Windows)

- A. ・アンチウィルス等ドライブを監視するソフトが常駐している場合は、本製品を対象からはずしてから取り外しをおこなってください。
・ファイルエクスプローラ、ディスクの管理等でドライブが表示されている場合は、そのウィンドウを閉じてから取り外しをおこなってください。

Q.Windows環境からMacintosh環境へ・Macintosh環境からWindows環境へ移動したとき、ディスクドライブとして認識できません。

- A.** MacOSとWindowsの両方でドライブを認識させるためには、FAT32形式でフォーマットしておく必要があります。(MacOSフォーマットやNTFSフォーマットでは、Windows/MacOSでの共用はできません。) ハードディスクドライブをFAT32形式に初期化してお使いください。
-

Q.複数のパーティション(区画)を切ったハードディスクが一部認識しない。(Windows)

- A.** 「ファームアップユーティリティ」を使用して[固定ディスクモード]に変更すれば、複数パーティションを切ったハードディスクの使用が可能になります。[リムーバブルモード]では最初のパーティションのみ使用可能です。

6「ファームアップユーティリティによるモード切替」参照

Q.ファームアップユーティリティを実行後、U2 Dockを接続すると「USB U2 Series Firmup」と出てハードウェア追加ウィザードが起動される。

- A.** U2-Dockの動作を停止させるためにレジストリを一部書き換えます。その書き換えた情報が残ってしまったために起こります。
U2-DockのUSBケーブルを接続し直すことにより現象を回避することができます。
ケーブルを接続し直しても認識されない場合は、CD-ROMに収録されている[U2DK1] - [Tool] フォルダにある「RSU2RegRestore.exe」を実行した後、U2-Dockとパソコンの電源を切ってください。



RSU2RegRestore.exe
U2SOX/U2-MDK1/DK1 RegRest..
RATOC Systems,inc.

Q.ファームアップユーティリティを実行して指示通りにU2 Dockを接続してもユーティリティで認識せずに、ドライブとして再認識してしまう。

- A.** ユニバーサルシリアルバス(USB)ライン上に1つでもストレージデバイスが認識されると発生します。
USB ストレージデバイスを一旦取り外すか、デバイスマネージャ上で無効にする必要があります。
-

Q.Administrator(管理者)権限以外のUserでログインすると、「取り出し」が実行できません?

- A.** Windows Vista/2000/XPのセキュリティ上の設定で「取り出し」が出来ない設定になっている為、以下の手順により設定を変更する必要があります。
- ①一旦Administratorでログインします。
 - ②[コントロールパネル]→[管理ツール]→[ローカルセキュリティポリシー]→[ローカルポリシー]→[セキュリティオプション]の順に開いていきます。
[ファイル名を指定して実行]にて[secpol.msc]を実行することにより設定画面を出すことも出来ます。
 - ③[リムーバブルメディアを取り出すのを許可する]の項目を[Administrator]から[Administrator and Interactive Users]に変更します。
- FATファイルシステム、NTFSファイルシステム両方で発生しますので、上記の設定が必要です。

9

お問い合わせ・ユーザ登録

9-1. 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記弊社サポートセンターまでお問い合わせください。お問い合わせの際には、巻末の「質問用紙」に必要事項をご記入のうえ、下記FAX番号までお送ください。折り返し、電話またはFAX、メールにて回答いたします。なお、ご質問に対する回答は下記営業時間内とさせていただきますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましては弊社にてテスト/チェック等を行う関係上、回答までに時間を要する場合がございますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
TEL 大阪:06-6633-0190 東京:03-5207-6410
FAX:06-6633-3553 (FAXは24時間受付)

営業時間 月曜～金曜 10:00～13:00、14:00～17:00
土曜・日曜・祝日及び弊社指定の休日を除く

ホームページで最新の情報をお届けしております。
またホームページ上からのご質問・お問い合わせも可能です。
<http://www.ratocsystems.com/>

9-2. プロダクトキーについて

弊社では、プロダクトキーと呼ばれる16桁の認証コードを、1製品につき1個発行しています。プロダクトキーは、製品に添付されている保証書のシリアル番号欄に製品シリアル番号とともに印字されています。

(例) Product Key: NMft-DWQC-XtYg-Q8MA

このプロダクトキーは、正規ユーザであるかどうかの認証が必要な場合に認証キーとして使用されます。プロダクトキーによる認証を行う場合は、プロダクトキーのみでユーザ認証を行い、ユーザ登録のような個人情報の登録が無くてもダウンロードの実行が可能となります。

詳しくは、弊社Webサイト (<http://p-key1.ratocsystems.com/>) をご覧ください。



オプション品をご注文の際、プロダクトキーが必要なオプションもありますので、紛失しないように大切に保管してください。

9-3. ユーザ登録

ユーザ登録は、下記URLより行うことができます。

<https://regist.ratocsystems.com/>

9-4. 修理について

万一故障した場合は、本製品に添付の保証書記載内容に基づいて修理致します。
故障と思われる症状が発生した場合は、まず本書を参照し、接続や設定が正しく行われているかどうかご確認ください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページの下記アドレス「修理について」を参照し、弊社修理センター宛に製品をお送りください。
また修理に関してご不明な点がありましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。

〈製品送付先〉 ラトックシステム株式会社 修理センター
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
TEL:06-6633-0190

〈送付頂くもの〉 ・本製品の保証書の原本
・製品
・質問用紙（本書巻末の「質問用紙」に現象を明記してください。）

〈送付方法〉 宅急便等、送付の控えが残る方法でお送りください。
弊社への修理品の送料は、送り主様にご負担ください。返送の費用は、弊社が負担いたします。
輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

〈修理費用〉 保証書に記載の保証期間・条件のもと、有償となる場合があります。
詳細は保証書をご覧ください。

修理についてのご案内

<http://www.ratocsystems.com/services/repair/contents.html>

10 オプション品のご案内

オプション品のご注文は、ラトックダイレクトにて承ります。

<http://rps.ratocsystems.com/>

型番	品名 (REX-Dockシリーズ専用 交換用トレイ)
RD-35MR1ALG	交換用トレイ (アルミ・ライトグレー)
RD-35MR1ABK	交換用トレイ (アルミ・ブラック)
RD-35MR1	交換用トレイ (アイボリー)
RD-35MR1BK	交換用トレイ (ブラック)
RD-35MR1W	交換用トレイ (スノーホワイト)
RD-35MR1S	交換用トレイ (シルバー)
RD-35MR1LG	交換用トレイ (ライトグレー)
RD-35MR2	交換用トレイ (アイボリー・トレイ2個)
RD-35MR2BK	交換用トレイ (ブラック・トレイ2個)
RD-35MR2W	交換用トレイ (スノーホワイト・トレイ2個)
RD-35MR2LG	交換用トレイ (ライトグレー・トレイ2個)
RD-35MR5	交換用トレイ (アイボリー・トレイ5個・紙製5段ラック付)
RD-35MR5BK	交換用トレイ (ブラック・トレイ5個・紙製5段ラック付)
RD-35MR5LG	交換用トレイ (ライトグレー・トレイ5個・紙製5段ラック付)
RD-25MR1	2.5インチ内蔵HD専用交換用トレイ (アイボリー)
RD-25MR1BK	2.5インチ内蔵HD専用交換用トレイ (ブラック)



交換用トレイ
(材質: ABS)



2.5インチ内蔵HD専用
交換用トレイ
(材質: ABS)

型番	品名 (交換用トレイ オプション)
RSD-35TP2	トレイ用 キャリングポーチ
RSD-PR5BK	トレイ用 紙製5段ラック
RSD-35HC	トレイ用 ハードケース
RSD-35CG	トレイ用 コネクタガード



トレイ用 キャリングポーチ



トレイ用 紙製5段ラック



トレイ用ハードケース



トレイ用 コネクタガード

型番	品名 (ケーブル)
RCL-USB2-01	USB2.0ケーブル Series A⇄Series B (約100cm)
RCL-U2EXP-05	マザーボード用USB2.0ケーブル (約70cm)



USB2.0ケーブル



マザーボード用USB2.0ケーブル

型番	品名 (USB2.0ホストインターフェイス)
REX-CBU2X	USB2.0 CardBus PC Card
REX-PCIU3	USB2.0 PCI Board (外部3ポート)
REX-PCIU4	USB2.0 PCI Board (外部4ポート)



REX-CBU2X



REX-PCIU3



REX-PCIU4



一般仕様

型番:U2-DK1

シリーズ名	REX-Dockシリーズ	
型番	U2-DK1	
名称	USB2.0 リムーバブルケース (外付けタイプ)	
対応OS	【Windows】・Windows Vista/XP x64/XP/Me/2000/98SE ※USB2.0機器として使用するためには、USB2.0対応ホストアダプタおよびUSB2.0EHCIドライバが必要です。 【Mac】・MacOS X 10.1.2以降、MacOS 9.2.1以降 ※MacOS X 10.2.8以前のOSではUSB1.1での使用となります。 ただし、MacOS X 10.2.1以降10.2.8より前のOSでは、弊社製USB2.0インターフェイスカードとEHCIドライバを使用し、USB2.0で使用可能です。	
対応機種	USBポートを標準装備、もしくはUSBインターフェイスカードを搭載した以下の機種 【Windows】・Windows PC 【Mac】・Mac Pro、PowerMac G5/G4/G3 ・Mac mini、iMac G4/iMac、iMac DV/DV+/SE、MacBook Pro、MacBook、iBook SE、eMac、iBook G4/G3、PowerBook G4/G3	
対応ドライブ	3.5インチ ATA/IDE HD(ATA133/100/66/33)(7200rpm、BigDrive対応) ※PIO mode3以前のHD、ORBは動作しません。	
インターフェイス	【対応PC】：USB2.0/USB1.1	【対応HD】：UltraATA66 (IDE)
データ転送速度	【対応PC】：480Mbps/12Mbps (理論値)	【対応HD】：66MB/sec (理論値)
LED	【本体電源ランプ】：緑色に点灯 ※本製品の電源は、パソコンの電源と連動しません。 【トレイ通電ランプ】：緑色に点灯 【アクセスランプ】：赤色に点滅	
スイッチ	【電源スイッチ】：本体電源のON/OFF 【キースイッチ】：トレイ電源のON/OFF (トレイのロック/解除)	
電源電圧	AC100～240V 50/60Hz	
ドライブへの電力供給能力	DC 5V/2A、12V/2A	
動作環境	温度：0～55℃、湿度：20～80% (ただし結露しないこと)	
外形寸法/重量	192mm(W)×274mm(L)×60mm(H) / 約2.0kg	
材質	【筐体部】：ABS樹脂 【内部シャーシ】 鋼板 (SECC)	
カラー	アイボリー	
ソフトウェア	・USB2.0マスタストレージドライバ (Windows 98SE用) ・フォーマットユーティリティ (Windows Me/98SE用、Windows XP/2000用) ・S.M.A.R.T.コマンド対応HDD温度監視ユーティリティ (Windows XP/2000用) ・ファームアップユーティリティ (Windows用/Mac用)	
保証期間	1年間	

型番:U2-MDK1(B)

シリーズ名	REX-Dockシリーズ	
型番	U2-MDK1(B)	
名称	USB2.0 リムーバブルケース (内蔵タイプ)	
対応OS	・Windows Vista/XP x64/XP/Me/2000/98SE ※USB2.0機器として使用するためには、USB2.0対応ホストアダプタおよびUSB2.0EHCIドライバが必要です。	
対応機種	USBポートを標準装備、もしくはUSBインターフェイスカードを搭載した以下の機種 ・Windows PC	
対応ドライブ	3.5インチ ATA/IDE HD(ATA133/100/66/33)(7200rpm、BigDrive対応) ※PIO mode3以前のHD、ORBは動作しません。	
インターフェイス	【対応PC】：USB2.0/USB1.1	【対応HD】：UltraATA66 (IDE)
データ転送速度	【対応PC】：480Mbps/12Mbps (理論値)	【対応HD】：66MB/sec (理論値)
LED	【トレイ通電ランプ】：緑色に点灯 【アクセスランプ】：赤色に点滅	
スイッチ	【キースイッチ】：トレイ電源のON/OFF (トレイのロック/解除)	
電源電圧	DC 5V/12V (PC内部電源より取得)	
消費電力	5V 220mA(TYP)、250mA(MAX) (ドライブの消費電流は含まず)	
動作環境	温度：0～55℃、湿度：20～80% (ただし結露しないこと)	
外形寸法/重量	146mm(W)×214mm(L)×42mm(H) / 約490g	
材質	ABS樹脂	
カラー	U2-MDK1：アイボリー U2-MDK1B：ブラック	
ソフトウェア	(U2-DK1と同じ)	
保証期間	1年間	

※U2-DK1、U2-MDK1(B)本製品に取り付けたハードディスクからOS起動(システム起動/ブート)はできません。

※弊社製REX-SATAシリーズ用トレイは使用できません、他社製のトレイは使用できません。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター宛

FAX: 06-6633-3553

お手数ですが、拡大コピーの上必要事項を記入して、FAXでお送り下さい。

氏名			
会社・学校	※法人登録の方のみ		
部署・所属	※法人登録の方のみ		
住所	〒		
TEL			
メールアドレス			
製品型番	U2-DK1・U2-MDK1(B)	シリアル番号	
購入店名			
購入年月日			

パソコン機種	メーカー名		型番	
使用OS				
接続HDD	メーカー名		型番	
接続ホスト インターフェイス	メーカー名		型番	
質問内容				

提供いただいたお客様の個人情報は、サポート目的のみに使用し、他の目的には使用しません。
弊社の個人情報取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.ratocsystems.com/info/privacy.html>



古紙配合率100%再生紙を使用しています



Trademark of American Soybean Association

大豆油インキを使用しています

©RATOC Systems, Inc. All rights reserved.
Printed in Japan